

2-1.

(1) すべての文章や語句が、同じ字体をもつ小さな文字で示されていて、しかも左端がそろっているためにメリハリがない。改行しながら箇条書きした語句には、ピリオドは不要である。

目的

体内の分岐系を数理的に構築すること

既存モデル

Weibelモデル：親枝から子枝へ分岐

Horsfieldモデル：末端から本流へと合流

北岡モデル：3D空間，親枝から子枝へ分岐

河川生成モデル：末端から本流へ分岐

本研究のモデル

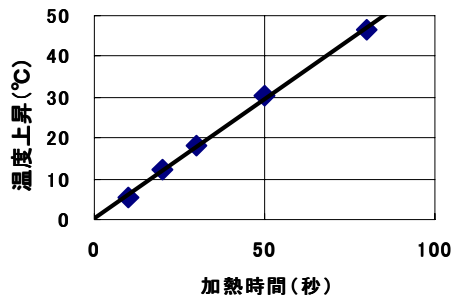
血管系の構築において、河川生成モデルを3D空間で適用する。

(2) 表のキャプションの文字が小さすぎる。グラフは、表と同じ内容をもつので、そのキャプションは不要である。右下の結論は、もっと簡潔にする。

結果

表1. 温度と加熱時間の測定(水:150ml)

加熱時間(秒)	10	20	30	50	80
加熱前(°C)	16.0	16.0	16.5	16.0	16.5
加熱後(°C)	21.5	28.5	34.5	46.5	63.0
温度上昇(°C)	5.5	12.5	18.0	30.5	46.5



加熱時間と
温度上昇は比例

3-1.

- (1) ~による研究を知っていた場合： ~による研究は、私も知っております。一見同じ内容のように見えますが、~という点で異なっており、今回の研究は、~という新しい知見を含んでおります。
~による研究を知らなかった場合： 申し訳ありません。~による研究は知りませんでした。さっそくその論文を見て検討したいと思います。
- (2) 途中の計算は、十分確認したつもりです。具体的にどの点が納得いただけないのか、あとでご教示いただければ幸いです。
- (3) ご指摘のとおり、この実験装置は精巧なものではありません。しかし、新しい試みを始めるときは、まず簡単な装置で試してみて、それから徐々に改良していくのが常道であると思います。どうかご了解をお願いします。
- (4) 学会発表に慣れていないので、話が十分伝わらなかったかと思います。結論を、簡潔に申し上げますと、~ということです。
- (5) ご指摘のとおり、まだ十分整理されておられません。困難な実験であるし、多数の複雑な要因がからんでいますので、考察が難しいという事情もあります。結果の解釈についてご意見をいただければ幸いです。
- (6) 従来の理解と正反対の仮説であることは、十分承知しております。しかし、これは正しいと思っておりますので、今日あえて発表させていただいた次第です。ご批判は、喜んでお受けします。